

# 国家公務員の超過勤務の実態（令和6年）

令和7年8月  
人事院職員福祉局職員福祉課

## 【調査概要】

- 「令和7年国家公務員給与等実態調査」（人事院）から作成

- 対象期間：令和6年1月～令和6年12月

- 対象職員：183,586人

対象職員は令和7年1月15日現在に在職する給与法等の適用を受ける常勤職員。

ただし、以下の職員は除く。

- ① 在外公館に勤務する職員、休職者、派遣職員のうち専ら派遣先の業務に従事する職員、育児休業中の職員、育児短時間勤務職員、自己啓発等休業中の職員、配偶者同行休業中の職員、1年以内の任期を限って任用された者及び定年が段階的に引き上げられるに伴い給与法附則第8項により俸給月額が決定される職員
- ② 令和6年1月2日以降に採用された職員（地方公務員等との人事交流により採用された職員を含む。）
- ③ 令和6年1月1日から令和7年1月15日までの間に以下の職員である期間があった職員

- ・ 休職、育児休業等の定員外職員
- ・ 育児短時間勤務等職員
- ・ 債給の特別調整額の支給対象職員
- ・ 専門スタッフ職俸給表2級以上の職員
- ・ 指定職俸給表適用職員
- ・ 第1号任期付研究員
- ・ 特定期限付職員

※ 組織区分は令和7年1月15日時点で在職していた組織区分に基づき分類

## 【調査結果】

### 国家公務員の平均年間超過勤務時間数（直近5年分）

令和6年の平均年間超過勤務時間数は、全体平均で219時間であり、前年に比べ11時間減少している。

組織区別に見ると、本府省では376時間で前年に比べ6時間減少し、本府省以外では181時間で前年に比べ12時間減少している。

組織区分 調査年（対象年月）	計 時間	本府省 時間	本府省以外 時間
令和7年調査 (令和6年1月～12月)	219	376	181
令和6年調査 (令和5年1月～12月)	230	382	194
令和5年調査 (令和4年1月～12月)	219	391	179
令和4年調査 (令和3年1月～12月)	217	383	179
令和3年調査 (令和2年1月～12月)	213	358	181

(注) 1 各数値は小数点以下第1位を四捨五入して表示。前年との差については、差の計算後に小数点以下第1位を四捨五入しているため、表中の数値の差と一致しない場合がある。

2 令和6年調査以降の時間数は、定年引上げに伴い「一般職の職員の給与に関する法律」附則第8項により俸給月額が決定される職員（俸給月額の7割措置が適用される60歳超職員）を除いたものである。

## 【参考】

### 国家公務員の超過勤務時間の時間階層別職員割合（令和7年調査（令和6年1月～12月））

組織区分	時間階層	0～360時間	361時間～	721時間～
		%	%	%
合計 (①+②)		78.9	21.1	2.7
①本府省		54.5	45.5	11.6
②本府省以外		84.9	15.1	0.5

以上